

旧土屋邸の未来を考える

～事業者育成型公募プログラム中間報告会～

プログラム中間報告会

町民の皆さまへ12月から開始した事業者育成型公募プログラムの中間報告会を開催します。これまでの進捗や今後の予定などをお話させていただく機会となりますので、ぜひご参加お待ちしております。ご興味・ご不明点がある場合はお問い合わせください！

○開催日時：2026年1月31日（土）16:00 - 17:00（予定）

○開催場所：真鶴町民センター

神奈川県足柄下郡真鶴町岩172-8

○参加対象：旧土屋邸の利活用にご興味ある方

■ 旧土屋邸について

真鶴町のまちなかに佇む、昭和初期に建てられた旧真鶴町民俗資料館（旧土屋邸）。石材業で栄えた土屋家の住まいとして、町の文化や暮らしを今に伝える建物です。長年親しまれてきましたが、老朽化により2024年に閉館。現在、地域の皆さんとともに新たな活用に向けて、検討を進めています。

- ・所在：足柄下郡真鶴町岩596
 - ・竣工年月：主屋：大正震災後 蔵：明治期（詳細な竣工年月は不明）
 - ・構造：木造
 - ・規模：平屋建て
 - ・建築面積：197.11㎡
 - ・延べ面積：225.31㎡
 - ・敷地面積：800.26㎡
 - ・規制等：第1種住居地域、真鶴町まちづくり条例
- ※出典元：神奈川県近代和風建築調査報告



事業者育成型公募プログラムとは

「事業者育成型公募」とは、自治体が一方的に条件を決める従来の公募とは異なり、単に応募者を募って終わりではなく、選ばれた事業者が地域で継続的に活動できるよう地域ぐるみで伴走支援を行う仕組みです。自治体に加えて、地元企業・地域金融機関などが連携し、エリアの新しい事業者を生み出します。さまざまなジャンルの専門家や企業が「メンター」となって支援していくのも大きな特徴。旧土屋邸という町の資産を次の世代へつなぐために、地域とともに未来を描いてくださる事業者を募集します。

お申し込みは
こちらから



※1/30（金）までにお申し込みください